

## 中村菊之進氏寄贈和漢仏教古典籍目録

會谷 佳光

### はじめに

中村菊之進氏は、一九三三年、山形県に生まれ、一九五六年に東北大学農学部を卒業、一九六二年に東北大学大学院農学研究科農芸化学博士課程を修了、農学博士となられた。同年に味の素株式会社に就職、一九九三年に定年退職されるまで勤務された。学生時代より仏教研究に志し、会社勤めのかたわら研究に注力された。その研究成果は、しばしば仏教関係の研究論文に引用され、専門の研究者にも一目置かれている。

東洋文庫には、辻直四郎理事長の時代（一九七四年四月～一九七九年九月在任）より足繁く来館され、閲覧室で資料の閲覧・調査に没頭されていた。週二日、決まった曜日に、職員のみならず、職員の誰よりも早く到着され、開館時刻をお待ちになっていた姿が思い出される。二〇〇八年十一月に始まった新本館建替工事に伴い、閲覧室が附属棟（現在の事務A棟）一階に一時的に移転した際も変わらず来館された。二〇一一年一月に新本館へ蔵書に移転するため閲覧室を閉館していた時期には、家蔵の仏像・仏画等をご持参になり、ご寄贈いただいた。しかし、それが中村氏にお会いした最後と

なった。二〇一一年六月に新本館での閲覧業務を再開したものの、一向に来館される気配がなく、閲覧係一同心配していたところ、九月に知人の方よりご連絡をいただき、七月二十三日にご病気のため急逝されたことを知った次第である。

東洋文庫では、二〇〇七年以降、中村菊之進氏より数回に渡って蔵書のご寄贈を受けた。ご寄贈いただいた資料は、和漢の仏教典籍を中心とした古典籍をはじめ、近現代の仏教関係の和文・欧文書籍・展覧会図録・貝葉資料等に及び、その他ネパール・チベット・インド等で入手された仏像・仏画等の文物も数多く寄贈された。このうち本目録に収録したのは、和漢の仏教古典籍百五十一部三百九十三冊についてである。この中には、宋版藏経十二部、元版藏経七部、明の永楽南蔵二部、乾隆版藏経一部、高麗再彫本二部が含まれており、零本・断簡もあるとはいえ、伝来稀な大藏経の諸本を新たに二十四部も所蔵することとなった。また各資料にはご自身で調査された書誌事項等に関するメモが添えられており、本目録の作成に当たって大いに参考にさせていただいた。いまは亡き中村氏の御厚情に心より御礼申し上げますとともに、本目録を御霊前に捧げ、御冥福をお祈りしたい。

## 凡 例

一、本目録は、中村菊之進氏が寄贈された和漢の仏教古典籍全百五十一部三百九十三冊の目録である。

一、著録資料の分類と各類の部冊数は次の通りである。なお冊数は、総数を把握するため、卷子本・折本・断簡にかかわらず便宜上「冊」で数えた。

### 一、中國

- 1 宋代 12部20冊
  - a 東禪寺版藏經 6部10冊、b 思溪版（資福寺版）藏經 4部5冊、c 磧砂版藏經 2部5冊
- 2 元代 8部8冊
  - a 普寧寺版藏經 7部7冊、b 單行本 1部1冊
- 3 明代 4部6冊
  - a 永樂南藏 2部2冊、b 單行本 2部4冊
- 4 清代 4部5冊
  - a 乾隆版藏經 1部1冊、b 單行本 3部4冊
- 5 近代 8部15冊

二、朝鮮

a 高麗大藏經（再雕本） 2部2冊、b 單行本 6部9冊

三、日本

1 漢籍 68部252冊

a 平安時代 1部1冊、b 室町時代 2部2冊、c 江戸時代 58部239冊、d 明治以降 7部10冊

2 準漢籍 3部3冊

3 日本撰述佛典 35部44冊

a 室町時代 1部1冊、b 江戸時代 20部25冊、c 明治以降 14部18冊

四、出版地・出版年代未詳の資料 1部29冊

一、同一項目内における排列順序は、大藏經所収本は各々の大藏經の収録順に従い、單行本は刊行・書写の年代順とした。なお各大藏經にはそれぞれ簡単な概説を付した。

一、表記は、ユニコードで表記可能な範囲で旧字体を用いた。

一、書誌事項は、書名・巻数、編著者名、出版事項、冊数、その他特記事項（版式・千字文・刊記・旧藏者等）からなり、補足・推定にかかわる部分は「〔 〕」付きで記した。

一、書名は、原則として第一巻の巻頭書名によった。第一巻に巻頭書名がない場合や、巻によって異なる場合等は、適宜、目録題・末題・版心題等に従い、根拠とした箇所を特記事項に記した。

- 一、【一】付きの三桁の数字は、便宜的に与えた整理番号である。請求記号は後日付与する予定である。
- 一、版心題は、巻頭書名と異なる場合のみ記した。
- 一、中国の近代刊行のもの、日本の明治以降刊行のものについては、原則として特記事項は記さなかつた。
- 一、目録の末尾に「中村菊之進氏研究論著目録」を附した。

## 一、中國

## 1 宋代

## a 東禪寺版藏經

元豐三年（一一〇八〇）、慧空大士冲眞等の發願で福建省福州の東禪等覺院で開版、崇寧二年（一一〇三）、徽宗より「崇寧萬壽大藏」の名を賜り、勅版藏經に準ずる扱いを受け、政和二年（一一一一）完成。紹興十八年（一一四八）、版木を重修・補刻。乾道淳熙間（一一六五～一一八九）、『大慧語錄』・『楞嚴義海』・天台三大部等十六函を追雕。總數五百八十函六千八百八卷。折本。每版三十行又三十六行、每半折六行十七字。千字文帙號は『開元釋教錄略出』に一致。卷首に數行の刊記あり。字函ごとくに音釋一帖を附す。崇寧版・福州版とも呼ばれる。印經活動は元代に及び、日宋・日元貿易により日本にも多數傳來したが、多くは開元寺版藏經との混合版であった。

大般若波羅蜜多經六百卷 存卷第四十五第四百四十五第四百四十五第四百九十七 唐釋玄奘奉詔譯 紹興三十

二年明州王公祠堂本之一 五帖

上下單邊 無界每半折六行十七字 無點。每紙の折目一箇所に千字文・卷次・紙次・刻工を刻す。無刊記。納經記  
「明州奉化縣忠義鄉瑞雲山／參政太師王公祠堂大藏經永充四衆看□／莊嚴報地紹興壬午五月朔男左朝請郎福／建路  
安撫司參議官賜緋魚袋王伯序題□／緣□□清涼禪院傳法賜紫慧海大師□□」（卷末）。

卷第四十五【006】 千字文「字」。末題前に「何文印造」印あり。虫損。

卷第四十四【008】 千字文「列」。卷末に納經記あり。虫損。

卷第四十五【007】 千字文「列」。第一紙闕。卷末に納經記あり。虫損。

卷第二十三【010】 千字文「收」。第十至十三紙存。末題前に「韓□印造」印、卷末に納經記あり。虫損。裏面

補修に大方廣佛華嚴經卷第三の刊本（單邊、無界五行、一行七言偈二句）を用いる。その二折前に「蜀勅版 五行」と書された領收書が貼附されるが、この補修紙に用いられた刊本は開寶藏ではない。

卷第二百九十七【009】 千字文「呂」。第一至三紙存。虫損。

大樹緊那羅王所問經四卷 存卷第一 姚秦鳩摩羅什譯 一紙【013】

上下單邊 無界每半折六行十七字 無點。千字文「被」。第五紙のみ存。二折目に「被 所問一卷 五 林用力」と刻す。虫損。第一面裏に卷第一卷首（元豐八年刊記・卷頭題・「東禪」印・「三聖寺」印）を鈔寫す。三聖寺舊藏。

雜阿含經五十卷 存卷第三十九 劉宋求那跋陀羅譯 一帖【034】

上下單邊 無界每半折六行十七字 無點。千字文「流」。第一至十四紙存、尾闕。每紙の折目一箇所に千字文・卷次・紙次を刻す。刊記「福州東禪等覺院住持傳法沙門智賢謹募衆緣恭爲／今上皇帝祝延 聖壽闔郡官僚同資祿位雕

造／大藏經印板計五百餘函 時紹聖三年十月 日謹題〔卷首〕。卷首に「東禪」印あり。帙題簽「北宋版雜阿含經  
〔天籟題〕」〔青谷茂〕印あり。

阿育王經十卷 存卷第五 梁僧伽婆羅譯 一帖 【033】

上下單邊 無界每半折六行十七字 無點。千字文「寫」。卷第四闕。每紙の折目一箇所に「寫 二經同七（紙次）」  
と刻す。刊記「孤子劉會元伏爲 考妣二親自寫／大藏教典二函付工鏤印上資生界」（末題前）。卷末に「詳對經第□

黃瑞／都句當藏主沙門 靈肇／都勸首住持傳法沙門 普明／前都勸首住持傳法慧空大師冲眞／證會靈應侯王」と  
刻す。末題下に「福州東禪經／生王愈印造」印あり。

佛說最上根本大樂金剛不空三昧大教王經七卷 存卷第七 宋釋法賢譯 一帖 【030】

上下單邊 無界每半折六行十七字 無點。千字文「觀」。每紙の折目一箇所に「觀 大教王七卷（紙次）（刻工）」  
と刻す。刊記「福州等覺院住持傳法沙門普明收印經板頭錢恭爲／今上皇帝祝延 聖壽闔郡官僚同□□位彫造／大藏  
經印板計五百餘函 時大觀元年六月 日謹題〔卷首〕。卷首に「東禪」印、末題下に「福州東禪經／生葛紹印造」  
印あり。茶色の覆い紙を存す。虫損。

策字函釋音一卷 一帖 【023】

上下單邊 無界每半折六行十七字 無點。千字文「策」。無刊記。宗鏡錄卷第七十一至第八十の音釋。



北宋末期、王永從・王永錫兄弟等王氏一族の淨財によって浙江省湖州思溪の圓覺禪院で開版、紹興二年（一一三二）完成。總數五百五十函。全藏中わずか二箇所の卷末に紹興二年刊記あり。南宋中期、王氏一族の没落により印刷活動が停滯したが、淳祐年間（一二四一～一二五二）、宋室の趙氏が圓覺禪院を復興し、版木の補刻（五百四十八函）・續刻（五十函二十四部四百五十卷）を行い、寺格も法寶資福禪寺に昇ったが、蒙古軍の侵攻により、版木は灰燼に歸した。圓覺禪院時代ものを前思溪版、資福禪寺時代ものを後思溪版・資福寺版と呼び、合わせて湖州版藏經とも呼ばれる。折本。每版三十行、每半折六行十七字。千字文帙號は『開元釋教錄略出』に一致。帖末に音釋を附す。原裝本は黄色の表紙に書名を墨書し、一帖一帙の裝訂。日本に多數傳來した。

長阿含經二十二卷附〔音釋〕 存卷第二 後秦佛陀耶舍竺佛念譯 一帖 【032】

上下單邊 無界每半折六行十七字 無點。千字文「深」。第一紙第一至三面闕。各紙右端の糊附け部分に「深 長

阿含經卷二（紙次）（刻工）」と刻す。無刊記。

中阿含經六十卷附〔音釋〕 存卷第八第三十二 東晉瞿曇僧伽提婆譯 二帖

上下單邊 無界每半折六行十七字 無點。

卷第八【038】 千字文「薄」。尾闕。各紙右端の糊附け部分に「薄 中阿含經八卷（紙次）（刻工）」と刻す。無刊記。

卷第三十二【031】千字文「温」。各紙右端の糊附け部分に「温 中阿含經三十二（紙次）（刻工）」と刻す。無刊記。

生經五卷附〔音釋〕 存卷第五 西晉竺法護譯 一帖【022】

上下單邊 無界每半折六行十七字 無點。千字文「定」。各紙右端の糊附け部分に「定 生經卷五（紙次）（刻工）」と刻す。無刊記。

出曜經二十卷附〔音釋〕 存卷第十二 姚秦竺佛念譯 一帖【035】

上下單邊 無界每半折六行十七字 無點。千字文「殿」。各紙右端の糊附け部分に「殿 出曜經卷十二（紙次）（刻工）」と刻す。無刊記。裏見返中央に「爲行觀貞運信女 蟹屋甚兵衛」と書した上に、「大乘正宗／儒良賢寶」朱印を上下に二箇所捺した紙片を貼附す。

c 磧砂版藏經

紹定四・五年（一二三二・一二三三）頃、蘇州磧砂の延聖禪院で開版。刻藏事業は宝祐六年（一二五八）の大火により不振に陥るが、元代に復興し、寺格も延聖禪寺に昇った。大徳三年（一二九九）頃、大藏經局が設置され、追刻事業が始まり、至治二年（一三三二）完成。總數五百九十一函六千三百六十二卷。折本。每版三十行、每半折六行十七字。千字文帙號は『開元釋教錄略出』に一致。卷頭書名の題下に千字文帙號と帖數を刻す。各經卷の

末尾に刊記あり。西安の臥龍寺・開元寺、山西省太原の崇禪寺で全藏が発見された。東洋文庫は従来零本二十四帖（清音寺舊藏）を所藏。

大般若波羅蜜多經六百卷附〔音釋〕 存卷第二百二十五第二百二十七第五百三十一第五百五十九第五百六十 唐釋玄奘奉詔譯 四帖

上下單邊 無界每半折六行十七字 無點。

卷第二百二十五【025】 千字文「冬」。每紙の折目一箇所に「般若」・千字文・卷次・紙次・刻工を刻す。刊記「大檀越保義郎趙安國一力刊經一部六百卷」（卷末）。卷頭副葉二面のうち第二面に「元祿九年丙子二月日重脩／皇圖鞏固 帝道遐昌／佛日增輝 灑輪常轉／山城州天安寺法金剛院置」と綠色で印刷す。第一紙第一面補鈔。虫損。

卷第二百二十七【026】 千字文「冬」。每紙の折目一箇所に千字文・「若」・卷次・紙次を刻す。卷頭副葉二面のうち第二面に「元祿九年丙子二月日重脩／皇圖鞏固 帝道遐昌／佛日增輝 灑輪常轉／山城州天安寺法金剛院置」と綠色で印刷す。第十第十一紙を除き補鈔。卷末に寶永二年大藏重修比丘照山晃識語あり。虫損。

と綠色で印刷す。第十第十一紙を除き補鈔。卷末に寶永二年大藏重修比丘照山晃識語あり。虫損。

第五百三十一【036】 千字文「稱」。每紙の折目一箇所に千字文・「若」・卷次・紙次・刻工を刻す。刊記「大檀越成忠郎趙安國一力刊經六百卷」（卷末）。卷末に音釋あり。

第五百五十九第五百六十【059】 千字文「光」。每紙の折目一箇所に千字文・「若」・卷次・紙次・刻工を刻す。

無刊記。卷第五百五十九首尾闕、卷第五百六十尾闕。卷第六百第一至十四紙の後に卷第五百五十九第十一至十三

紙を繼ぐ。卷第五百五十九第十三紙と裏表紙を繼ぐ補修紙に妙法蓮華經卷第二の刊本（上下雙邊、無界五行十五字、句四聲點、二面）を用いる。

開元釋教錄二十卷附〔音釋〕 存卷第九 唐釋智昇撰 一帖【027】

上下單邊 無界每半折六行十七字 無點。千字文「笙九」。第一至十六紙闕。每紙の折目一箇所に千字文帙號・紙次・刻工を刻す。無刊記。清音寺舊藏。

## 2 元代

### a 普寧寺版藏經

至元十三年（一二七七）、白雲宗の僧俗が浙江省杭州の普寧寺で開版、同二十七年完成。總數五百五十八函六千四卷。元版藏經・杭州藏とも呼ばれる。思溪版藏經を底本とし、福州版等で校勘。折本。每版三十行、每半折六行十七字。千字文帙號は『開元釋教錄略出』に一致。千字文帙號に帖數を附加。原裝本は丹色表紙。各經卷の末尾に刊記あり。

大般若波羅蜜多經六百卷 存卷第三十七 唐釋玄奘奉詔譯 一帖【017】

上下單邊 無界每半折六行十七字 無點。千字文「黃」。每紙の折目一箇所に千字文帙號・紙次・刻工を刻す。施  
財刊記「烏鎮息塘□濟庵濃道圓施財刊經一卷功報四恩三宥者」(卷末)。丹色表紙。

放光般若波羅蜜經三十卷 存卷第十 西晉無羅叉譯 一紙 【014】

上下單邊 無界每半折六行十七字 無點。千字文「業」。第五紙のみ存。第一面・第二面間の折目に千字文帙號・  
紙次・刻工を刻す。

四童子三昧經三卷附〔音釋〕 存卷中 隋闍那崛多譯 一帖 【018】

上下單邊 無界每半折六行十七字 無點。千字文「歸四」。每紙の折目一箇所に千字文帙號・紙次を刻す。無刊記。  
丹色表紙。虫損。

不空羼索神變眞言經三十卷 存卷第四 唐菩提流志譯 一紙 【015】

上下單邊 無界每半折六行十七字 無點。千字文「慕」。第九第十二紙のみ存。每紙の折目一箇所に千字文帙號・  
紙次・刻工を刻す。丹色表紙。

法苑珠林一百卷附〔音釋〕 存卷第五十六至第五十八第六十七第六十八第九十二 唐釋道世撰 一帖 【029】

上下單邊 無界每半折六行十七字 無點。千字文卷第五十六至第五十八「書」六至八、卷第六十七第六十八「壁」  
七至八、卷第九十二「羅二」。每紙の折目一箇所に千字文帙號・紙次・刻工を刻す。卷第五十七第一至四紙、卷第  
五十六第五至十紙、卷第五十七第七第八紙、卷第五十八第九至十一紙、卷第六十七第十三第十四紙、卷第六十八第  
二十一第二十二紙、卷第五十六第十一至十四紙、卷第九十二第一至八紙の順に繼ぐ。無刊記。虫損。

佛説八大靈塔名號經一卷 八大靈塔梵讚一卷 三身梵讚一卷 佛説尊那經一卷 宋釋法賢譯 一帖 【021】

上下單邊 無界每半折六行十七字 無點。千字文「輦八」。每紙の折目一箇所に千字文帙號・紙次・刻工を刻す。

無刊記。丹色表紙。

宗鏡錄一百卷附〔音釋〕 存卷第三十二 宋釋延壽撰 一帖 【037】

上下單邊 無界每半折六行十七字 無點。千字文「傾二」。每紙の折目一箇所に千字文帙號・紙次・刻工を刻す。

卷末音釋後に「徑山興聖萬壽禪寺首座沙門慧元重校」とあり。施財刊記「杭州路南山大普寧寺大藏經局伏承 湖州

路烏程縣德政鄉濡山橫欄俱居奉／佛弟子朱氏二娘同朱十六 施財刊開／尊經壹卷功德各悼／父母宗親同生／□□□

冀自身平善者 至元二十二年六月 日 住山 □（右旁作「畢」） 如志 題（卷末）。第一紙第一面裏に表紙を貼

り、裏表紙は三面あり、その中央の面を卷末第十七紙第五面に繼いだ裏見返の裏側に貼り、左面・右面の順に表紙を包み込むようになってゐる。表裏の表紙とも薄茶色。

b 單行本

華嚴一乘教義分齊章義苑疏十卷 存卷第九 宋釋道亭述 元刊本 三紙弱 【011】

上下單邊 無界每半折六行十八字。道亭注（「釋曰」）の末尾と本文との間に「○」あり。折本。第十四紙最終面第四至六行、第十五紙五面、第十六紙第三面第四行までを存す。第二紙・第三紙右端の糊付け部分に「苑荒九（紙

次」と刻す。中村菊之進氏のメモにより元刊本としておく。

3 明代

a 永樂南藏

永樂六年（一四〇八）頃、南京城南端聚寶門外の天禧講寺で保管されていた洪武南藏の版木が焼失。永樂十年、天禧講寺を再建して大報恩寺と改額、詔を奉じて洪武南藏を重刊し、同十七年、正藏六百三十五函六千三百五十卷完成。折本。每版三十行、每半折六行十七字。千字文帙號に帖數を附加。十帖一帙（函）に裝訂。洪武南藏の編次を變更し、卷數も減少。萬曆三十年代半ば頃、續藏四十一函完成。正藏は萬曆年間までに經典の出入・分函の調整を経て六百三十六函となり、正續合わせて六百七十七函の構成で頒布された。當初は南京大報恩寺で希望者に實費頒布されたが、後に南京の經鋪を通じて販賣された。經鋪は永樂北藏の入手難に便乘し、南藏の販賣價格を吊り上げ、納期を延滞したため、南藏の入手も困難となった。日本にはほとんど傳來せず、山口縣快友寺に五千四百四十四帖、立正大學圖書館に五百五十八帖が所藏される。

大般若波羅蜜多經六百卷 存卷第四百五十二 唐釋玄奘奉詔譯 一帖 【050】

單邊 無界每半折六行十七字 無點。千字文「出二」。每紙の右端糊附け部分に刻工名あり、折目一箇所に千字文  
 帙號・紙次を刻す。題簽「大般若波羅蜜多經卷第四百五十三 出」を誤貼。刊記「至和衛王家印行」(卷末韋駄天  
 像左下)。

宗門統要續集二十卷 存卷第六 宋釋宗永集 元釋清茂續集 一帖 【020】

單邊 無界每半折六行十七字 無點。千字文「漢六」。每紙の右端糊附け部分に刻工名あり、折目一箇所に千字文  
 帙號・紙次を刻す。無刊記。題簽「宗門統要續集卷第六 漢」。每紙「懷來大悲寺」朱印を捺す。

b 單行本

過去莊嚴劫千佛名經一卷 梁闕名譯 明常熟陳宅甲子宮王氏刊本 一帖 【113】

上下雙邊 無界每半折五行十五字 句點。表紙闕。每紙の折目一箇所に「過(紙次)」と刻す。首に佛繪・「啓建  
 三千諸佛法懺嚴淨儀範」「三劫三千佛緣起」(劉宋薑良耶舍譯)、末に韋駄天像あり。刊記「常熟陳宅甲子宮王氏刻」  
 (扉繪右下)。各紙を繼いだ後に印刷。扉繪下部に享保七年施主藤堂作兵衛識語あり。その識語に「奉寄附三千佛名  
 經全部三卷五部」とあるから、もと現在賢劫千佛名經・未來星宿劫千佛名經各一卷と三卷一セットで五セット奉納  
 されたもの。吉田澄舊藏。

佛母大孔雀明王經三卷附音釋 唐不空奉詔譯 明北京長安街楊氏刊本 三帖 【114】



上下雙邊 無界每半折五行十五字 句四聲點。卷中尾闕。卷上首に扉繪・蓮牌願文、卷上末に萬曆二十年（一五九二）「勅賜衍法寺住持怡菴本讚」、卷下末に蓮牌・韋馱天像あり。刊記「長安街雙塔寺對門楊家印造諸般經卷俱全」（卷下末蓮牌左欄外）。破斷。

#### 4 清代

##### a 乾隆版藏經

雍正十一年（一七三三）、藏經館を開設、翌年、東安門外の賢良寺で校閲・開版、乾隆三年（一七三八）完成。完成時は七百二十四函千六百七十五部七千二百四十卷あったが、乾隆三十四年までに入蔵取消があり、七百十八函千六百七十部七千六百七十七卷に減少。清版藏經・龍藏とも呼ばれる。折本。每版二十五行、每半折五行十七字、上下雙邊。千字文帙號に帖數を附加。十帖一帙（函）に裝訂。明の永樂北藏の分類を踏襲。版木は故宮武英殿から智化寺・房山雲居寺等を経て、北京市文物局に保管される。印刷部數は三百部弱でさほど流通せず。龍谷大學藏本は西太后が西本願寺に寄贈したもの。

熾盛光道場念誦儀一卷釋迦如來涅槃禮讚文一卷拊音釋 宋釋遵式撰 釋迦如來涅槃禮讚文宋釋仁岳撰 一帖【094】

上下雙邊 無界五行十七字 無點。千字文「馳十」。每紙の折目一箇所に千字文帙號・紙次を刻す。卷末に韋馱天像あり。無刊記。題簽「一儀一文同卷 馳十」。

b 單行本

大清重刻龍藏彙記一卷 清闕名撰 同治九年跋金陵刻經處刊本 一册【058】

左右雙邊 有界十行二十字 無魚尾線黑口 無點。版心題「龍藏彙記」。無刊記。

佛說造像量度經一卷造像量度圖樣一卷解一卷續補一卷 清工布查布譯併撰解及續補 同治十三年跋金陵刻經處刊本 一册【061】

左右雙邊 有界十行二十字 無魚尾線黑口 句點。版心題「造像量度經」。無刊記。

大乘中觀釋論十卷 宋釋惟淨奉詔譯 光緒三十四年跋金陵刻經處刊本 二册【085】

左右雙邊 有界十行二十字 無魚尾線黑口 句點。無刊記。

5 近代

大慈恩寺三藏法師傳十卷附內學院校刻本刊誤一卷附錄一卷 唐釋慧立撰 唐釋彥棕箋 民國十二年支那內學院校刊本

三冊 【060】

湖州思溪圓覺禪院新雕大藏經律論等目錄二卷 昭和五年和歌山水原氏用宋思溪版藏經本景印 一帖 【001】

大明釋教彙門標目四卷 明釋寂曉撰 民國二十年跋天津刻經處刊本 二冊 【055】

佛本行集經六十卷 存卷第十九 隋闍那崛多譯 昭和十年東京大藏出版株式會社用京都南禪寺藏開寶藏本景印 一軸

【002】

影印宋磧砂藏經首冊 民國二十五年上海影印宋版藏經會排印本 二冊 【105】

大般若波羅蜜多經六百卷 存卷第百九十三 唐釋玄奘奉詔譯 昭和五十四年用米國國會圖書館藏宋東禪寺版藏經本景

照 一校 【012】

千字文「往」。首尾各三紙の複製。中村菊之進氏のメモに『弘文莊待賣古書目』第9號（昭和十二年三月刊）（177）  
記載の「島田蕃根舊藏經なるべし。反町弘文莊より米國國會圖書館への経路は未詳。」とある。

大唐西域記十二卷附〔音釋〕 唐釋玄奘奉詔譯 唐釋辯機撰 民國中臺北藝文印書館景印本 四庫善本叢書史部之一

四冊 【069】

大唐故翻經大德益州多寶寺道因法師碑文并序一卷 卽宋拓道因法師碑 唐歐陽通書 上海有正書局石印本 一冊

【044】

## 二、朝鮮

## a 高麗大藏經（再雕本）

初雕本は、高麗顯宗二年（一〇一一）、契丹の撤退と國威發揚を祈念して開版、宣宗四年（一〇八七）完成。總數五百七十函五千二百二十四卷。卷子本。一紙二十三行、行十四字。底本は宋の開寶藏。無刊記。續藏は、高麗僧義天が入手した佛典章疏千十部四千七百四十卷により、大興王寺に教藏都監を設置して開版。傳存はまれ。版木は正藏が大邱符仁寺、續藏が大興王寺に保管されたが、高宗十八年（一一三一）、蒙古軍の侵略で焼失。

再雕本は、高宗が江華島へ遷都後、佛力による蒙古軍の退散を祈念して大藏都監を設置して、高宗二十三年に藏經を再雕、同三十八年完成。總數千五百一十一部六千八百二卷、一説に千五百二十四部六千五百五十八卷。卷子本。一紙二十三行、行十四字。高麗僧守其等が初雕本・開寶藏・契丹版藏經・古寫の藏經等を校勘して編纂。版木八萬千二百五十八枚は大韓民國慶尚道陝川郡伽耶山の海印寺に現存。高麗再雕本・高麗八萬大藏經・海印寺一切經等と呼ばれる。

上下單邊 無界六行十四字 無點。千字文「分」。第一紙前半闕、第三十五紙以降闕。每紙の折目一箇所に「阿吽曇毘婆沙論」・卷次・紙次・千字文・刻工を刻す。清音寺舊藏。

大藏目錄三卷附補一卷 高麗闕名輯 附錄朝鮮海冥壯雄輯 高麗高宗三十五年大藏都監刊朝鮮高宗二年修本 一冊

【072】

左右雙邊 無界九行十四字 雙魚尾白口 無點。千字文「更」。版心題「藏經目」。刊記「戊申年高麗國大藏都監奉  
／勅雕造」(卷下末)。

b 單行本

妙法蓮華經七卷 存卷第七 宋釋戒環解 嘉靖四十三年黃海道文化地九月山唄葉寺刊本 一冊 【111】

單邊 有界九行十六字注文小字單行低一格二十字 雙魚尾小黑口 無點。版心題「法華經」。刊記「嘉靖四十三年

甲子二月 日黃海道文化地九月山唄葉寺開板」(卷第七末)。首に蓮牌の願文、末に佛畫あり。ままた匡廓の左右欄外に施財者名あり。

妙法蓮華經七卷 存卷第七 宋釋戒環解 崇禎五年咸鏡道安過釋王寺刊本 一冊 【137】

單邊 無界十行二十字 雙魚尾白口(ままた小黑口あり) 無點。版心題「法」。刊記「崇禎五年壬申十一月日咸鏡道安過釋王寺開板」(卷第七末)。ままた版心下部に刻工名、匡廓の右欄外に施財者名あり。

妙法蓮華經七卷 存卷第二至第四第六 宋釋戒環解 朝鮮刊本 四冊 【109】

單邊 無界十行十八字 雙魚尾（まま花魚尾あり）白口 無點。版心題「妙法」。無刊記。まま匡廓の左右欄外、

卷第三第四末に施財者名あり。

妙法蓮華經七卷 存卷第四 宋釋戒環解 朝鮮刊本 一冊 【110】

單邊 無界十行十八字 雙魚尾（第一丁のみ花魚尾）白口 無點。版心題「法」「妙法」。無刊記。まま匡廓の左右

欄外に施財者名あり。【109】とは別版。

妙法蓮華經七卷 存卷第六 宋釋戒環解 朝鮮刊本 一冊 【112】

雙邊 無界十二行二十一字 單花魚尾白口 無點。版心題「妙法」。無刊記。經文はハングル併記。版心下部に施財者名あり。

寒山詩一卷附慈受深和尚擬寒山詩一卷附〔音釋〕 唐釋寒山撰 慈受深和尚擬寒山詩宋釋懷深撰 朝鮮刊後印本 一

冊 【103】

單邊 有界十行十六字 單魚尾白口 無點。擬寒山詩第八十三第八十四丁闕。版心題「三隱」。無刊記。

### 三、日本

#### 1 漢籍

##### a 平安時代

大方廣佛華嚴經六十卷 存卷第十九第二十第三十五 晉佛跋陀羅譯 平安後期寫本 一軸【003】  
上下單邊 有界行十七字。藍紙に金箔を散らし、金泥で上下の匡廓・界線を引く。卷第三十（十行分）・第十九（六行分）・第二十（四行分）・第五十五（五行分）の順に斷簡を並べて貼り合わせたもので、上下に火災による焼損あり。いわゆる泉福寺經の一つと見られる。

##### b 室町時代

仁王護國般若波羅蜜多經二卷 闕卷上 唐不空奉詔譯 文安元年東寺西院釋覺增重刊本 一帖【100】  
無邊 無界每半折四行十七字 無點。無柱題。刊記「東寺西院根本版依朽損文安元／季甲子四月重刊／奉行權律師

覺增」(卷下末)。虫損。

大般若波羅蜜多經六百卷 存卷第二百八十六 唐釋玄奘奉詔譯 室町期刊本 一軸【001】

無邊 無界每紙二十四行乃至二十五行十七字。無刊記。卷子本。春日版。虫損。

c 江戸時代

翻譯名義集七卷附蘇州景德寺普潤大師行業記一卷 元釋法雲編 附錄元釋普洽記 寬永五年跋刊本 七册【057】

單邊 有界六行十一字相當注文小字雙行二十字 雙花魚尾白口 句送返縱點。版心題「翻譯」。無刊記。

石門洪覺範林間錄二卷新編林間後錄一卷 宋釋慧洪撰 寬永十七年書舍次兵衛刊本 二册【116】

雙邊 無界十行十七字 雙魚尾小黑口 送返縱點。版心題「林」。刊記「寬永〈庚／辰〉七月吉日書舍次兵衛新刊行」(新編林間後錄末)。

大藏一覽集十卷目錄一卷 宋陳實編 寬永十九年野田庄右衛門刊本 六册 原裝十一册【066】

雙邊 無界十行十九字 雙花魚尾白口 送返縱點。版心題「覽」。刊記「寬永十九歲九月吉辰野田庄右衛門」(卷第十末)。三緣山增上寺慧照院舊藏。

般若波羅蜜多心經略疏一卷 唐釋法藏撰 日本闕名科文 寬永二十年重刊本 一册【097】

單邊 無界十行十三字 無魚尾白口 送返縱點 科文。版心題「心經略疏」。刊記「寬永二十〈癸／未〉年二月吉



辰重梓」(卷末)。安樂寺舊藏。

萬善同歸集三卷 宋釋延壽撰 正保四年京都村上平樂寺刊本 三册【055】

單邊 無界九行二十字 單魚尾白口 送返縱點。刊記「正保四年孟春／村上平樂寺開板」(卷下末)。三緣山増上寺  
山下東谷寥廓堂、同寺學寮戒光室舊藏。

因明入正理論一卷 唐釋玄奘譯 正保五年跋釋岳譽刊□□屋宇平求板京都伊勢屋額田正三郎後印本 一册【083】

單邊 無界八行十七字 無魚尾白口 送返縱點。版心題「因明論」。刊記「□□屋宇平求板」(跋末)、二字の闕字  
は「文臺」を削ったもの。

因明入正理論一卷 唐釋玄奘譯 正保五年跋釋岳譽刊□□屋宇平求板後印本 一册【084】

同前。題簽「論 因明入正理論〈明本後序附〉沛」。

悉曇字記一卷 唐釋智廣撰 慶安元年刊本 一册【040】

單邊 無界八行十三字 無魚尾白口 送返縱點。版心題「字記」。刊記「慶安元年〈戊／子〉仲夏上旬 開板之」  
(卷末)。寶幢寺舊藏。

註金師子章一卷 宋釋承遷撰 慶安二年京都武村市兵衛刊本 一册【119】

雙邊 無界七行十七字 三魚尾小黑口 送返縱點。版心題「注金師子章」。刊記「慶安二〈己／丑〉載初冬日命工  
壽梓／萬泉浦比丘〈某〉誌」慶安二〈己／丑〉曆霜月吉日／二條通松屋町／武村市兵衛刊行」(ともに卷末)。

阿毘達磨俱舍論本頌一卷 唐釋玄奘奉詔譯 慶安三年跋東大寺清涼院釋實淵刊本 一册【081】

雙邊 無界九行二十字 雙花魚尾白口 四聲點。版心題「俱舍本頌」。無刊記。

三寶感應要略錄三卷 宋釋非濁集 慶安三年大和田九左衛門刊本 三册【051】

雙邊 無界九行十八字 雙花魚尾小黑口 送返縱點。版心題「感應錄」。刊記「慶安三年〈庚寅〉星月／大和田九左衛門板行」（卷下末）。第二册見返に寛文六年仰蓮社信譽識語あり。

大宋僧史略三卷附紹興朝旨改正僧道班列文字一集一卷 宋釋贊寧奉勅撰 慶安四年京都堤六左衛門刊本 三册

## 【049】

雙邊 無界十行二十字 雙花魚尾小黑口 送返縱點。版心題「史」。刊記「慶安四年仲春良辰／寺町通二條上町／堤六左衛門開板」（附錄末）。瑞岩山天喜禪寺舊藏。

金剛略疏一卷 明釋元賢撰 承應二年京都秋田屋平左衛門刊本 一册【075】

雙邊 有界九行二十字 單魚尾白口 送返縱點。刊記「承應二〈癸巳〉曆秦正吉祥／寺町通圓福寺前町 秋田屋平左衛門板行」（卷末）。吉田澄舊藏。

大唐西域記十二卷附音釋 唐釋玄奘奉詔譯 唐釋辯機撰 承應二年據日本覆崇寧二年福州等覺禪院釋普明刊本重刊中

野五郎左衛門後印本 六册【087】

單邊 無界十行二十字 無魚尾白口 送返縱點。千字文「轉」疑。版心題「西域記」。刊記「承應二曆〈癸巳〉仲春 日／中野五郎左衛門刊」（卷第十二末）。

天台四教儀一卷 高麗釋諦觀錄 承應三年跋京都山屋治右衛門刊本 一册【126】

無邊 無界十行十五字 無魚尾白口 無點 科文。版心題「四教儀」。刊記「二條松屋町山屋治右衛門刊行」(卷末)。

大藏經綱目指要錄八卷 宋釋惟白集 萬治二年中野市右衛門刊本 十三册【091】

單邊 無界七行二十字 雙白魚尾上白口下黑口 送返縱點。版心題「指要錄」。刊記「萬治二(己)亥」年仲冬吉

日/中野氏市右衛門開板」(卷第八末)。瑞泉院澄慶舊藏。

釋氏稽古略四卷附釋鑑稽古略續集三卷 元釋覺岸撰 附錄明釋幻輪撰 寬文三年京都八尾勘兵衛據崇禎十一年序嚴爾

珪刊本重刊 五册【086】

單邊 無界九行二十六字 單魚尾白口 句送返縱點。刊記「寬文三癸卯五月日/寺町下本能寺前」八尾勘兵衛板」

(卷第四末)。

妙法蓮華經玄贊十卷 唐釋窺基撰 寬文四年京都池田屋七兵衛刊本 十册【071】

雙邊 無界十行二十二字 送返縱點。版心題「法華玄贊」。刊記「京師書林 池田屋七兵衛 板行/寬文四(壬)

辰)曆孟春」(卷第十末)。

法苑珠林一百二十卷附校譌音釋 唐釋道世撰 寬文九年村上平樂寺據萬曆十八年十九年清涼山妙德禪院刊嘉興版大藏

經本重刊 四十册【043】

雙邊 無界十行二十字 無魚尾上白口下小黑口 送返縱點。卷第一第二目錄、有界。卷首に扉繪あり。刊記「寬文

九年己酉仲夏吉日/書林村上平樂寺 刊行」(卷第二百末)。

禪林寶訓四卷附音切 宋釋淨善重集 「寬文九年至延寶九年宇治黃檗山寶藏院鐵眼道光」刊本 一册【047】

雙邊 無界十行二十字 無魚尾白口 送返縱點。千字文「黍」七至十。無刊記。裏見返に草駄天像あり。

大明三藏聖教目錄四卷附大明續入藏諸集一卷北藏闕南藏函號附一卷大日本著述附一卷 明闕名輯〔寛文九年至延寶

六年宇治黄檗山寶藏院〕據萬曆二十九年徑山寂照庵刊本重刊〔享保八年〕修 二册【158】

雙邊 有界十行二十字 無魚尾上白口下小黑口 無點。無刊記。虫損。

大明三藏聖教目錄四卷附大明續入藏諸集一卷北藏闕南藏函號附一卷大日本著述附一卷 明闕名輯〔寛文九年至延寶

六年宇治黄檗山寶藏院〕刊通修昭和赤松晉明印本 一册【156】

同前。題簽「北藏 黄檗鐵眼版一切經目錄 全」。

〔鼈頭〕護法論一卷附錄一卷 宋張商英撰 日本闕名首書 延寶三年京都銅駝坊書肆村上勘兵衛重刊本 三册

【107】

單邊 無界十行十七字 雙魚尾白口 送返縱點。刊記「延寶三乙卯歲季春上浣日／神雉銅駝坊書肆／村上勘兵衛重

彫」〔附錄末〕。安養山大信寺建空舊藏。

〔鼈頭〕佛說阿彌陀經疏記三卷 即阿彌陀經義疏聞持記 闕卷上中 宋釋戒度撰 延寶六年松木屋清兵衛校刊本 一

册【046】

單邊 無界七行十七字 單魚尾上白口下小黑口 句送返縱點 科文。版心題「疏記」。刊記「延寶戊午ノ仲春日

松木屋 清兵衛板」〔卷下末〕。

大乘起心論疏二卷 唐釋法藏撰 唐釋宗密注 延寶七年京都市郎兵衛刊本 二册【127】

單邊 無界六行十五字 無魚尾白口 句送返縱點 科文。版心題「起心論疏」。刊記「延寶七年己未五月吉日／東洞院通六角下ル町／山口市郎兵衛板」(卷下之二末)。

〔佛祖三經〕三種 宋釋守遂注 天和二年刊天明二年額田正三郎求板後印本 一冊【129】

雙邊 無界八行十七字 無魚尾上白口下小黑口 送返縱點。佛說四十二章經・佛遺教經・注瀉山警策各一卷を収録。版心題「佛祖三經」。刊記「天和二年(戊)二月吉日」(注瀉山警策末)、「天明二年壬寅初冬 額田正三郎求刊」(丙戌釋益大跋末)。

阿毗達磨俱舍論三十卷附音釋 唐釋玄奘奉詔譯 天和三年京都獅谷升蓮社釋忍激重刊寬延四年印大阪河内屋吉兵衛後

印本 十冊【039】

雙邊 無界十行二十字 無魚尾白口 送返縱點。千字文「樓」一至「飛」十。刊記「新譯俱舍論凡三十卷以洛東獅谷升蓮社／藏本鏤梓行世／天和癸亥四月初八之日「信／阿」「忍激／之印」」(卷第三十末)、「寬延四年辛未仲秋吉旦／大阪書林(住所略) 河内屋吉兵衛藏板」(同前)。第三・四冊裏見返に書肆廣告を添附す。湖西鉤玄寺舊藏。

大明三藏聖教目錄四卷附大明續入藏諸集一卷北藏闕南藏函號附一卷武周刊定僞經目錄一卷 明闕名輯 武周刊定僞經目錄唐釋明佺等撰 (天和三年) 據〔寛文九年至延寶六年宇治黃檗山寶藏院〕刊〔延寶六年至七年〕修本重刊後修

一冊【157】

雙邊 有界十行二十字 無魚尾上白口下小黑口 送返縱點 首書。無刊記。

大般若波羅蜜多經卷第五百七十八(第十般若理趣分) 附十六神王名一卷附呪一卷 唐釋玄奘奉詔譯 附錄□阿地瞿多

譯 貞享二年釋慈海校刊本 一帖 【101】

上下單邊 無界每半折四行十七字 句送返縱四聲點 首書。無柱題。刊記「貞享二年歲在乙丑正月穀旦／慈海宋順校合」(卷末)。卷首に扉繪あり。

佛說因緣僧護經一卷 東晉闕名譯 貞享二年小佐治半右衛門刊本 一册 【080】

雙邊 無界十行二十字 無魚尾上白口下小黑口 送返縱點。版心題「僧護經」。「貞享貳(乙／丑)年初夏吉祥日／書林小佐治半右衛門(開／□)」(後序末)。見返に昭和四年泰學無禪識語あり。

大佛頂如來密因修證了義諸菩薩萬行首楞嚴經文句十卷 明釋智旭撰 明釋道昉參訂 元祿六年跋淺野久兵衛重稚刊本

十册 【074】

單邊 無界十一行二十一字 單白魚尾白口 句送返四聲點。版心題「大佛頂經文句」。刊記「書林 淺野久兵衛重稚」(跋末)。勤息文庫舊藏。

天台四教儀集註三卷 元釋蒙潤集 元祿八年京都芳野屋權兵衛刊京都柳枝軒小川多左衛門後印本 三册 【063】

雙邊 無界十行二十字 無魚尾上白口下小黑口 送返點 首書。版心題「四教儀集註」。刊記「元祿八年乙亥八月吉日／柳馬場通二條下ル町／芳野屋權兵衛」(卷下末)。

〔鼈頭〕夾註輔教編十卷 宋釋契嵩編併注 日本梁巖□湛首書 元祿九年植村藤右衛門等刊京都柳枝軒小川多左衛門

後印本 一册 【062】

單邊 無界九行十七字 無魚尾白口 送返縱點。版心題「冠攷輔教編」。刊記「崑元祿第九丙子年仲夏日／洛陽書

堂〔植村藤右衛門／壽梓／田原仁左右衛門〕（卷第十末）。

〔鼈頭〕三論玄義一卷 隋釋吉藏奉命撰 日本關名首書 元祿十四年文臺屋治郎兵衛刊萬延元年求版明治十年京都文

昌堂永田調兵衛修本 一冊 【068】

單邊 無界八行十七字 無魚尾白口 送返縱點。版心題「首書 三論」。刊記「元祿十四（辛／巳）年仲秋吉日／

文臺屋治郎兵衛藏版」（卷末）、「萬延元年（庚／申）八月求版／明治十年十二月補刻」（京都花屋町通油小路東入町）／永田調兵衛」（同前）。第二冊末に「皇都書林文昌堂藏版目錄」四丁あり。

唯識二十論一卷附唯識二十論述記二卷 唐釋玄奘奉詔譯 述記唐釋窺基撰 日本釋實養訓點 日本釋基辨校 元祿十

五年刊明和五年京都小林庄兵衛等修京都文昌堂永田調兵衛後印本 三冊 【070】

單邊 無界十行二十字 無魚尾上白口下小黑口 送返縱點。刊記「元祿十五年壬午二月開板／崑明和五年戊子二月

改正／皇都書林（住所略）／小林庄兵衛（住所略）／西村九郎右衛門（住所略）／赤井長兵衛／大阪心齋橋南一丁目／松村九兵衛」（述記卷下末）。第三冊末に「皇都書林文昌堂藏版目錄」四丁あり。藝陽光雲寺舊藏。

〔鼈頭〕成唯識論十卷 唐釋玄奘奉詔譯 日本釋明詮傍解 日本釋眞興訓點 日本釋淨住會 元祿十六年京都市中野宗

左衛門據元祿七年京都市中野宗左衛門刊本重刊 十冊 【056】

單邊 無界七行十七字 雙魚尾白口 句送返縱四聲點 傍注。刊記「元祿十六龍集癸未孟春穀旦／洛陽寺町五條／

中野宗左衛門壽梓」（卷第十末）。通覺寺舊藏。

勝鬘師子吼一乘大方廣經一卷 劉宋求那跋陀羅譯 寶永元年刊京都山城屋藤井佐兵衛後印本 一冊 【073】

單邊 無界十行二十字 無魚尾上白口下小黑口 送返點 首書。版心題「勝鬘經」。刊記「寶永元甲申年重陽」(卷末)。

貞元新定釋教目錄三十卷 唐釋圓照撰 日本釋妙瑞校點 享保十六年京都平樂寺村上勘兵衛等據高宗三十三年三十四年高麗國大藏都監奉敕刊高麗大藏經本重刊 三十册【067】

單邊 有界十行二十一字 無魚尾白口 送返縱點 首書。千字文「説」「感」「武」「丁」。版心題「貞元録」。刊記「享保十六辛亥年仲春穀旦／皇都書林(住所略)／平樂寺 村上勘兵衛(住所略)／壽德堂 山岡四郎兵衛(壽／梓)」(卷第三十末)。

梵語雜名一卷附指訛一卷 唐釋禮言集 日本釋眞源校 享保十七年刊後印本 一册【041】  
單邊 有界六行字數不定 無魚尾上白口下黑口 無點。刊記「旨享保十七年三月穀旦」(附錄末)。刊記後に天保三年輪應識語あり。

文殊師利菩薩所説宿曜經二卷 唐不空奉詔譯 享保二十一年序高野山經師八左衛門刊本 二册【078】

單邊 無界十行十七字 無魚尾白口 送返縱點 首書。版心題「宿曜經」。刊記「高野山經師八左衛門摹刻」(卷下末)。第二册末に「宿曜和讀／圓滿寺釋圓熙撰」三丁を挿入す。

〔鼈頭〕天童覺和尚頌古報恩老人著語不分卷 即宏智禪師頌古 宋釋正覺撰 日本闕名首書 日本釋靈瑞校 二元文二年跋大坂文榮堂尾張玉山房刊京都小川柳枝軒等後印本 二册【131】

單邊 有界七行十五字 單魚尾上白口下黑口 送返縱點。見返「靈瑞和尚考閱／宏智禪師頌古(大坂／尾張)書



肆〔文榮堂／玉山房〕〔合／梓〕。版心題「宏智禪師頌古」。「雲山藏板」〔奥附〕。

入阿毗達磨論二卷附〔音釋〕 唐釋玄奘奉詔譯 日本釋智暉校 寶曆九年校刊京都文昌堂永田調兵衛後印本 一冊

【079】

單邊 無界十行二十字 無魚尾上白口下小黑口 送返縱點 首書。刊記「寶曆九己卯年八月吉辰／書林」〔卷下末〕。

卷末に「皇都書林文昌堂藏版目錄」四丁あり。

禪關策進一卷 明釋祿宏輯 寶曆十二年釋圓慈據明曆二年刊本重刊 一冊 【128】

單邊 無界十行二十字 單魚尾白口 句送返縱點 首書。刊記「明曆二年丙申春正月刻／寶曆十二年壬午夏四月／

再刻」〔卷末〕。

梵語千字文一卷附譯注一卷梵唐消息一卷 唐釋義淨撰 譯注日本釋敬光撰 安永二年京都□□正三郎刊京都山城屋藤

井佐兵衛後印本 一冊 【054】

單邊 有界六行字數不定 無魚尾白口 無點 首書。刊記「安永二年〔癸／巳〕十月中旬／京師書舖 □□正三郎

發行」〔卷末〕。二字の闕字は「額田」を削ったもの。

異部宗輪論述記一卷末一卷 唐釋玄奘奉詔譯 唐釋窺基記 日本釋實養點 安永三年京都中野宗左衛門等據元祿九年

刊本重校刊 二冊 【096】

單邊 無界九行十九字 無魚尾上白口下小黑口 送返縱點 傍注。版心題「異部宗輪論述記」。刊記「元祿九年丙

子仲春原刻／安永三年甲午孟秋校刻／京洛書肆〔井上忠兵衛／中野宗左衛門／額田正三郎〕梓」〔末末〕。第二冊裏

見返に天明五年識語あり。

異部宗輪論述記一卷首一卷 唐釋玄奘奉詔譯 唐釋窺基記 日本釋實養點 安永三年京都中野宗左衛門等據元祿九年

刊本重校刊京都文昌堂永田調兵衛後印 二冊 【077】

同前。刊記同前(首末)。第二冊末に「皇都書林文昌堂藏版目錄」四丁あり。

龍樹菩薩傳一卷拊婆藪槃豆法師傳一卷拊諸傳考疑 姚秦鳩摩羅什譯 婆藪槃豆法師傳陳眞諦譯 寛政元年京都慶證寺

釋玄智據寶曆十三年校刊本重刊 一冊 【082】

單邊 有界九行二十字 單魚尾白口 句送返縦四聲點。版心題「龍樹大士傳」「天親論主傳」。刊記「寶曆十三年癸

未五月校讎録梓寛政元年己酉／六月再刻 皇都慶證寺釋玄智景耀謹識」(諸傳考疑末)。

仁王護國般若波羅蜜多經二卷 闕卷上 唐不空奉詔譯 寛政八年跋京都經師伊兵衛等刊本 聖護王府藏版 一帖

【104】

單邊 無界四行十七字 送返縦點 首書。無柱題。刊記「皇都書林(經師伊兵衛／龜屋儀助／著屋宗八／同 儀兵

衛)(跋後)。

解深密經五卷拊音釋 唐釋玄奘奉詔譯 日本釋德龍校點 文化十年跋京都黑石七兵衛重校刊京都文榮堂澤田友五郎後

印本 二冊 【076】

雙邊 無界十行二十字 無魚尾白口 送返點 首書。刊記「平安書肆 東六條 黑石七兵衛梓行」(跋後左欄外)。

第二冊末に「皇都書林澤田藏版佛書略目錄」二丁あり。

増廣聖宋高僧詩選前集一卷後集三卷續集一卷高僧詩補遺一卷 宋陳起輯 文政三年刊本 昌平叢書之一 二冊【089】

左右雙邊 有界九行十八字 無魚尾小黑口 句送返點 首書。版心題「僧甲」。刊記「文政三年刊」(補遺末)。

増廣聖宋高僧詩選前集一卷後集三卷續集一卷高僧詩補遺一卷 宋陳起輯 文政三年刊本 昌平叢書之一 二冊【090】

同前。

藏乘法數一卷 元釋可遂重集 江戸期據應永七年跋釋靈通刊本重刊 一冊【038】

雙邊 有界(まま無界あり) 十三行二十字 雙魚尾小黑口 無點。版心題「法數」。無刊記。覆五山版。

鎮州臨濟慧照禪師語錄一卷 唐釋慧然集 江戸期據元應二年刊本重刊京都貝葉書院後印 一冊【012】

雙邊 無界十一行二十字 雙花魚尾小黑口 送返縱點。版心題「臨濟錄」。無刊記。五山版(二B:b.58)の重刊

本。末に貝葉書院發行略書目錄禪宗之部一丁あり。

佛祖統紀五十五卷 原闕卷第二十一 宋釋志磐撰 江戸期據元和寛永間古活字印本刊 二十一冊【155】

單邊 無界十一行二十字 雙花魚尾小黑口 句送返縱點。版心題「統紀」。無刊記。首冊見返に「東曼」、第二十一

冊裏見返に「釋琳海／寶永乙酉冬」と書す。金地院舊藏。

刻藏縁起不分卷 明闕名輯 江戸期刊本 一冊【064】

嘉興版大藏經首帙所收本の覆刻。嘉興版大藏經の開版に關連する釋僧可「募刻大藏疏」等三十七篇を収録す。版式・

版心題等、每篇異なる。無刊記。題簽「支那／撰述」刻藏縁起(全)■。

大毗盧遮那成佛經疏三卷 闕卷第一第二 唐釋一行記 江戸期刊本 一帖【106】

無邊 無界七行十七字 無魚尾白口 送返四聲點。版心題「大荒」。無刊記。粘葉裝。高野版。第十三紙以降闕。  
 虫損。南紀蟹谷山西方寺舊藏。

南海寄歸內法傳四卷附校訛音釋 唐釋義淨撰 江戸期刊後印本 一册 【052】

雙邊 無界十行二十字 無魚尾白口 送返縱點 首書。千字文「尹」七至十。無刊記。卷第四第二十七丁闕。

大樂金剛不空眞實三摩耶經般若波羅蜜多理趣品一卷 唐不空奉詔譯 江戸期刊本 一帖 【082】

無邊 無界每半折四行十七字 聲點。折本。無柱題。無刊記。明治以降刊か。持寶閣舊藏。

d 明治以降

心地觀經報恩品二卷 卽心地觀經卷第二第三 唐般若奉詔譯 日本鳥尾小彌太訓點 明治十七年刊本 東京天澤寺明

道教會藏版 一册 【091】

〔鼈頭〕六祖大師灑寶壇經二卷 唐釋慧能說 日本山田大應冠註傍訓 明治十八年名古屋松雲堂松屋平兵衛刊本 二

册 【048】

金剛頂瑜伽中發阿耨多羅三藐三菩提心論一卷 唐釋不空奉詔譯 日本前田實心訓點校正 明治二十四年京都山田常藏

刊本 一册 【063】

大明三藏法數五十卷 明釋一如等奉勅集註 明治三十五年京都圖書出版株式會社排印本 三册 【115】

千字文「昆」「池」「礪」「石」「附石」。卷第一至第三總目。

千手千眼觀自在菩薩廣大圓滿無礙大悲心陀羅尼一卷 唐釋不空譯 明治頃寫本 一冊 【068】

十行字數不定。表紙題「直書」、「自在」を「世音」に作る。

隋刻法華經殘卷 昭和十一年堀口蘇山用中村不折藏本景照 一軸 【108】

佛國禪師文殊指南圖讚一卷 宋釋惟白讚 日本篠崎輔嗣畫 昭和十三年京都鈴木貞太郎用明和四年跋刊本景印 一冊

【142】

## 2 準漢籍

科註勝宗十句義論一卷 日本一觀虎喝撰 寶曆十年京都池田屋七兵衛等刊本 一冊 【065】

無邊 無界十行二十字 白三角魚尾白口 送返點 科文。版心題「科註十句義論」。刊記「寶曆十年庚辰孟夏吉日

〈東六條中珠數屋町／池田屋七兵衛／(住所略)／丁子屋九良右衛門／(住所略)／北村四郎兵衛〉(卷末)。裏

見返に「刻料助銀」名簿あり。

分別六合釋一卷 日本釋法住記 寛政九年大坂敦賀屋九兵衛刊本 一冊 【124】

雙邊 無界十行二十字 無魚尾上白口下小黑口 送返縱點 首書。刊記「寛政九年歲次丁巳林鐘吉辰／紀州根來寺

／大傳法院藏版／大坂心齋橋南二丁目／精本弘所 書林敦賀屋九兵衛」(卷末)。裏見返に寛政十二年識語あり。

〔鼈頭〕科註因明入正理論一卷 日本釋良俊記 文政元年京都額田正三郎等刊本 一冊【123】

單邊 無界行數不定十一字乃至十二字 雙花魚尾白口 送返點 傍注。刊記「智山梅寮藏版／文政元年（戊）寅九

月刻成／皇都書林（額田正三郎／河南四良兵衛）」（卷末）。鷲尾文庫舊藏。

### 3 日本撰述佛典

#### a 室町時代

故六十却事一卷 釋緣憲草 室町中期釋空□寫本 一冊【005】

九行字數不定。表紙「第六卷／故六十却事（緣憲草）／空□」。本奥書「寫本云／正安元十月上旬之比書寫之了／沙門清壽」（卷末）。本文全五丁。虫損。中村菊之進氏のメモでは、緣憲は鎌倉中期の興福寺法雲院の僧で、順松房と號したとし、本書は室町中期、文明頃の筆寫で、『成唯識論』『成唯識論同學抄』に關する「南都論草」の一つと推定する。

#### b 江戸時代

性宗名目私鈔四卷 卽綱目鈔 闕名撰 寬永八年刊本 四冊【121】

單邊 無界十行二十字 雙花魚尾小黑口 送返縱點。版心題「綱目鈔」。刊記「寬永八年十月吉日刊摺之畢」(卷第

四末)。平等心王院舊藏。

八宗綱要抄二卷 釋凝然撰 承應二年刊京都池田屋七兵衛後印本 一冊【121】

雙邊 無界十行二十字 雙花魚尾小黑口 送返縱點。版心題「綱要」。刊記「承應二稔季春吉旦／開板」(卷下末)。

卽身成佛義一卷 釋空海撰 承應二年跋高野山寶光院釋應盛刊本 一帖【136】

無邊 無界六行十七字 無魚尾白口 句送返縱四聲點。版心題「卽身義」。無刊記。粘葉裝。高野版。

三十三過本作法一卷 闕名撰 寬文元年釋權智刊本 一冊【093】

雙邊 無界八行十七字 雙花魚尾小黑口 送返縱點。題簽「因明三十三過本作法〈全〉」。版心題「本作法」。刊記

「旨寬文元〈辛／丑〉 蕤賓命工壽梓 權智」(卷末)。卷末に寬文九年嘉譽道祐識語あり。

〔梵文〕一卷 釋澄禪編 寬文九年跋釋澄禪刊初印本 一冊【144】

單邊 無界行數字數並不同 無魚尾白口 無點。題簽題「梵文〈十三佛種子真言／四十九院種子〉」。無版心題。無

刊記。寬文九年澄禪跋に「知等」朱印あり(澄禪、號知等庵)。京都西八條東林院舊藏。

大日經疏奧卷聞書爛脫二卷 享保十四年寫本 一冊【015】

無邊 無界六行字數不定。各卷末に享保十四年奧書あり。虫損。三井寺山内圓滿院舊藏。

寶慶記一卷 釋道元撰 明和八年跋刊本 一冊【141】

雙邊 無界七行十六字 無魚尾白口 送返縱點。見返「承陽祖師寶慶記／若州吉祥林藏版／印本壹萬部之内」。無刊記。嘉永五年識語あり。兵庫縣蓮華寺奈良照禪舊藏。

觀心覺夢鈔三卷 闕名撰 釋典壽校 寛政三年京都澤田吉左衛門書林二酉堂刊京都著屋宗八後印本 一冊【122】

左右雙邊 無界十行二十字 單魚尾白口 送返縱點。版心題「觀心覺夢抄」。刊記「寛政三（辛／亥）歲九月穀旦

／獅谷白蓮社藏版／弘通所 知恩院古門前澤田吉左衛門／三條通室町西書林二酉堂」（卷下末）。

越后州頸城郡竹直村眞照寺藏經募緣簿一卷 釋僧隆編 寛政九年序寫本 一冊【145】

單邊 有界十行字數不定 單魚尾白口 無點。無版心題。野線刷料紙。版心下部「文昌堂」。竹直村眞照寺舊藏。

須彌山圖解一卷 高井伴寛撰 文化六年跋江戸星運堂刊本 一冊【139】

無邊 無界十行字數不同 句點。見返「高蘭山先生著／〈新／刻〉須彌山圖解〈完〉／東都書肆 星運堂梓」。無

版心題。無刊記。末に星運堂花屋久次郎「高井蘭山先生著書」一覽あり。

八宗綱要抄二卷附校異一卷 釋凝然撰 釋圓解校 文政十年京都新集堂刊本 二冊【120】

單邊 無界十行二十字 無魚尾白口 送返縱點 首書。刊記「文政十年丁亥仲夏／豐府／光西寺藏／洛南書林 新

集堂發」（第二冊裏見返）。

聖一國師住東福禪寺語錄一卷 釋圓爾語 釋師鍊校纂 文政十二年跋據元和六年刊本重刊 一冊【130】

左右雙邊 無界九行十七字 單魚尾白口 句送返縱點。版心題「聖一國師語錄」。末に「禪家書房京師／小川源兵

衛製本」朱印あり。



即身成佛義一卷 釋空海撰 釋應盛訓點 寫本 一冊【092】

單邊 無界六行十七字 無魚尾白口 句送返縱點。卷末に承應二年高野山寶光院釋應盛跋あり。高野版を鈔寫した

ものか。近畿大學中央圖書館勸修寺文庫に萬治三年刊釋應盛訓點本あり。

遍照發揮性靈集十卷 存卷第四 釋空海撰 寫本 一帖【131】

押界六行十四字。粘葉裝。尾闕。虫損。釋圓宥舊藏。

卍字義一卷 釋空海撰 刊本 一帖【102】

無邊 無界六行十七字 無魚尾白口 送返縱四聲點。無刊記。粘葉裝。高野版。

辨顯密二教論二卷 存卷上 釋空海撰 刊本 一帖【132】

無邊 無界六行十七字 無魚尾白口 無點。版心題「二教論」。無刊記。粘葉裝。高野版。

辯顯密二教論二卷 存卷下 釋空海撰 刊本 一帖【133】

無邊 無界六行十七字 無魚尾白口 無點。版心題「二教論」。無刊記。粘葉裝。高野版。昏魚庵舊藏。

般若心經祕鍵一卷 釋空海撰 刊本 一帖【134】

無邊 無界六行十七字 無魚尾白口 句送返縱四聲點。版心題「祕鍵」。無刊記。粘葉裝。高野版。

和州法隆寺諸伽藍本尊靈寶目錄一卷 闕名編 刊本 一冊【140】

無邊 無界八行字數不定 無魚尾白口 無點。表紙「大和國／伽藍本尊靈寶目錄／法隆寺」(直刷)。無版心題。無

刊記。末に天保十一年識語あり。

釋迦如來梅檀瑞像記一卷 優填王觀願毘須羯摩天正撰 五臺山清涼寺刊本 一冊【159】

單邊 無界十一行字數不定 單魚尾白口 無點。表紙「優填王觀願毘須羯摩天正作／梅檀瑞像〈三國／傳來〉記／  
城州嵯峨五臺山清涼寺」(直刷)。版心題「瑞像記」。刊記「五臺山清涼寺／濤亭抱華謄寫／福廣新八彫鐫」(卷末)。

c 明治以降

三國佛法傳通緣起三卷 釋凝然撰 赤松皆恩校 藤島了穩再閱 明治十年京都四書堂合刊本 一冊【143】

諸寺塔供養記一卷附那須雲巖寺舊記一卷 明治十五年東京近藤瓶城據水戸彰考館古寫本排印 史籍集覽之一 一冊

【151】

御製大藏經序跋集一卷 色川誠一輯錄 明治十五年序東京弘教書院排印本 一冊【149】

大藏經報 臨時增刊 明治三十七年藏經書院排印本 一冊【148】

第三十五號・第二十四號の順に合冊。表紙に「圓通□用／編輯部目錄受渡證印簿／再訂 藏經書院」と書す。書中、  
藏經書院編輯部による書き入れ・諸種捺印あり。

大日本續藏經第一輯案 (明治三十七年藏經書院) 排印本 一冊【147】

表紙に「〈再／訂〉大日本續藏經目錄／〈再〉／改訂」と書す。書中、藏經書院編輯部によるものとおぼしき書き  
入れ・諸種捺印あり。

轉經考一卷 附轉全家式一卷 釋義統撰 昭和二年其中堂據正德五年刊本排印 一册 【154】

〔鼈頭〕三教指歸二卷 原闕卷下 釋空海撰 加藤諦見科註 昭和十七年跋中川善教用加藤諦見自筆稿本景印 一册

【095】

弘法大師集 野本白雲編 昭和二十一年東京平凡社景照本 書道十人集之一 一册 【153】

七祖聖教三卷 闕名輯 東禪閣西教寺刊本 三册 【117】

教行信證六卷 附追加校異一卷 釋親鸞集 附錄闕名撰 刊本 三册 【118】

【117】 【118】 書型・裝訂同。あるいはともに江戸後期刊本か。

傳教大師將來目錄二種 釋最澄編 比叡山淨土院用文政四年序刊本景印 一册 【138】

傳教大師將來台州錄一卷・傳教大師將來越州錄一卷を収録。文庫所藏のIV・4・B・1003と同版であるが、「將來目錄の辯」一枚を附す。

古今一陽集不分卷 存東之部 釋良訓撰 謄寫版印本 一册 【146】

表紙・内題「古今一陽集〈東之部〉／法隆學問寺」。末に明治十七年法隆寺貫主千早定朝識語を附載す。

立河聖教目錄一卷 卽寶鏡鈔目錄 釋宥快編 用明曆三年中村五郎右衛門刊本景印 一册 【150】

東福開山聖一國師年譜一卷 附聖一國師住東福禪寺語錄一卷 釋圓心編 附錄釋圓爾語 釋師鍊校纂 用大東急記念文

庫藏應永二十四年跋刊本景印 一册 【152】

四、出版地・出版年代未詳の資料

大般若波羅蜜多經六百卷 存卷第四百一至第四百二十第四百八十三至第五百第五百六十一至第五百八十 唐釋玄奘奉

詔譯 刊本 二十九帖 【690】

單邊 有界每半折五行二十字 無點。無柱題。無刊記。兩面刷。卷第四百八十一第四百八十二は表紙のみ存。明治以降の刊本か。

附録 中村菊之進氏研究論著目録

〔宋思溪版大藏經刊記考〔附刊記集〕〕『文化』第三十六卷第三號、一九七二年十二月

〔宋傳法院譯經三藏惟淨の傳記及び年譜〕『文化』第四十一卷第一・二號、一九七七年九月

〔宋開寶版大藏經構成考〕『密教文化』第一四五號、一九八四年一月

〔宋明州王公祠本大藏經考〕『文化』第四十八卷第一・二號、一九八四年九月

〔宋福州版大藏經考（一）〕『密教文化』第一五二號、一九八五年十二月

〔宋福州版大藏經考（二）〕『密教文化』第一五三號、一九八六年一月

- 「宋福州版大藏經考（三）」『密教文化』第一五四號、一九八六年三月
- 「宋版大藏經東洋文庫所藏岩崎文庫本考」『東洋文庫書報』第二一號、一九九〇年三月
- 「トルファン出土の大藏經」『密教文化』第一七二號、一九九〇年十二月
- 「八難救苦多羅菩薩と其の由來」『文化』第五六卷第一・二號、一九九二年九月
- 「中央アジア、ムルトク及びカラ・ホト出土の刊本佛典」『密教文化』第一八一號、一九九三年一月
- 「磧砂版大藏經考（二）」『密教文化』第一八四號、一九九三年十二月
- 「磧砂版大藏經考（二）」『密教文化』第一八五號、一九九四年三月
- 「磧砂版大藏經考（三）」『密教文化』第一八六號、一九九四年三月
- 「吐魯番出土の佚經斷片」『密教文化』第一九五號、一九九六年十一月
- 「東洋文庫所藏梵文寫本に所載の插畫」『東洋文庫書報』第三八號、二〇〇七年三月
- 「東洋文庫新收の『シヨル版八千頌般若經圖像集』」『東洋文庫書報』第三九號、二〇〇八年三月
- 「准胝佛母―華麗な密教尊―」『佛教通信』第三十一號、二〇〇八年七月

（財団法人東洋文庫研究員）

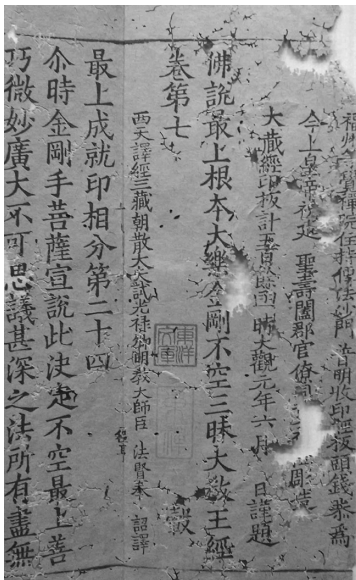


圖2 東禪寺版『大教王經』卷7首

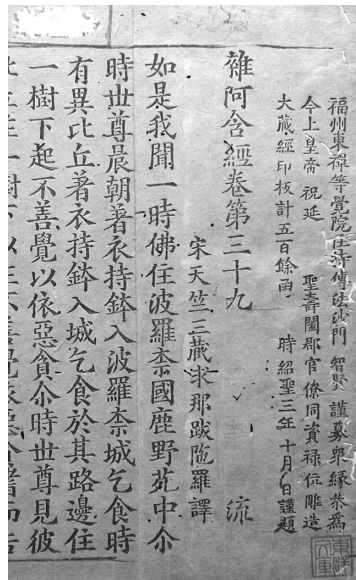


圖1 東禪寺版『雜阿含經』卷39首

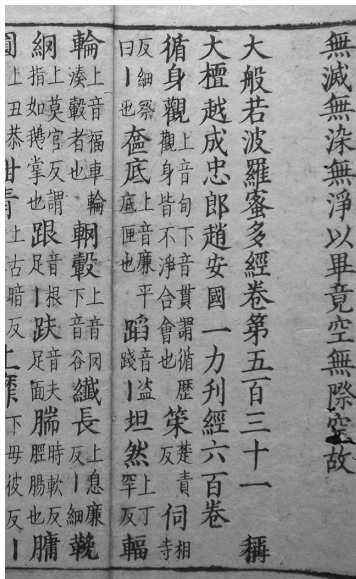


圖4 磧砂版『大般若經』卷531末

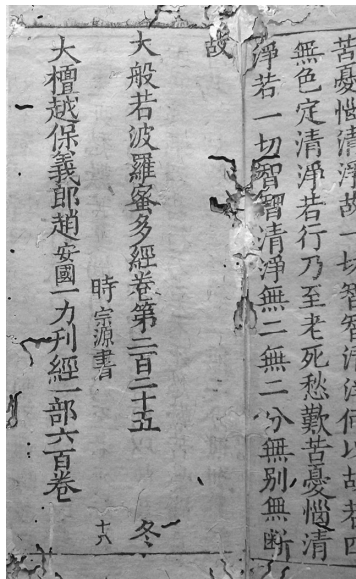


圖3 磧砂版『大般若經』卷225末

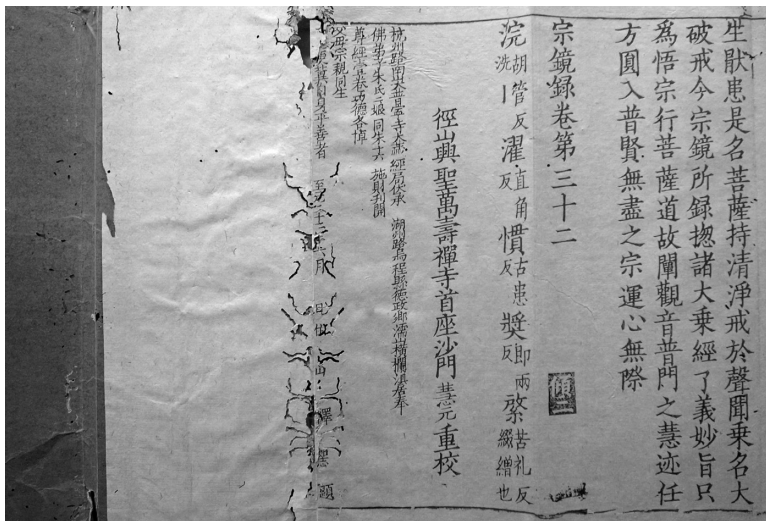


图5 普寧寺版『宗鏡錄』卷32末

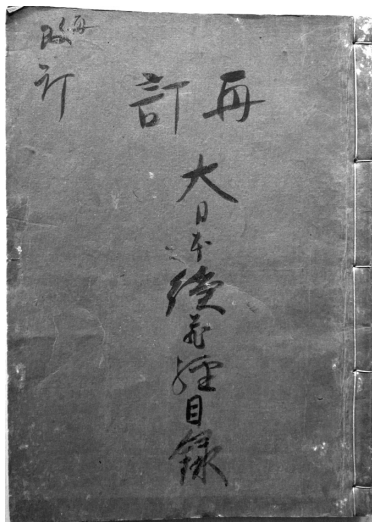


图7 『再訂大日本續藏經目錄』表紙

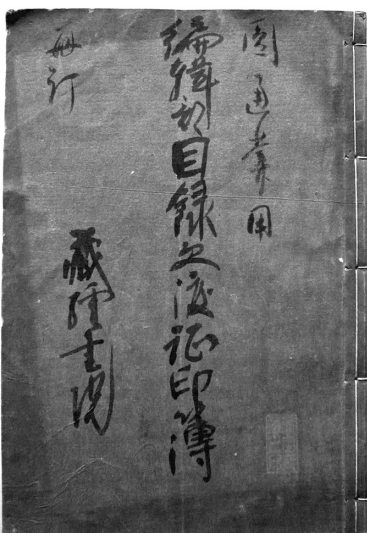


图6 『(藏經書院)編輯部受渡證印簿』表紙

